

## 横浜キャンパス

### 震災後の社会に貢献する環境情報学部 特色在る人材育成策に保護者も共感

環境情報学部がある横浜キャンパス。15日の環境情報学科説明会で、学部長の吉崎真司教授が、「環境情報学部は問題解決型の人材育成を目指している。震災後の社会に大いに役立つはず」とその特色をアピール。キャリア委員長の中原秀樹教授も「環境業界が即戦力を必要としている。震災直後にいったん落ち込んだ(環境情報学部への)求人も回復し、現時点で(学生一人当たり)16.4社からオファーが来ている」と、その就職力の高さを例証しました。

22日の情報メディア学科説明会では、学科主任の奥平雅士教授が、「地域、海外との連携を重視している」と、そのグローバルなポリシーを披露。また、キャリア委員長の家木俊温教授は、「就職の早期化が顕著になっている。保護者の皆さんも、早期からお子さんと将来について話し合うべき」とアドバイスしました。両日とも横浜キャンパスは、多数の保護者で活気にあふれました。



横浜キャンパス



学科説明会での吉崎環境情報学部長  
(横浜キャンパス)

## 等々力キャンパス

### 学科をあげて就職支援に取り組む都市生活学科 幅広い知識を備える保育者を養成する児童学科

等々力キャンパスでは、15日に都市生活学部都市生活学科、22日に人間科学部児童学科の連絡会を実施しました。

都市生活学科では、学部長の平本一雄教授らから、全教員が一人3社ずつ企業回りをしていること、企業説明会を等々力キャンパスで実施していることなどが紹介されました。

児童学科では、学部長の近藤雅雄教授が「毎年志願者が増えている」と人気の高さを紹介すると、教務委員長の岩田遵子教授も「幼児教育・福祉分野は人材不足のために売り手市場が続いている。当学科は、人間に関わる幅広い知識を学びながら、子どものスペシャリストを養成している」と、学科の意義をあらためて説明しました。



等々力キャンパス



個人面談(等々力キャンパス)

なお、今年度、全国の連絡会へのご参加は全1,544世帯。来年もより多くの方々のご参集をお願いいたします。

## 静岡会場

### ひしひしと感じた大学への期待

横浜キャンパス 学生支援センター係長 高橋 博

平成23年度「大学と保護者との連絡会」静岡会場は、平成23年9月4日(日)午前10時より、静岡グランドホテル中島屋にて開催され、59世帯78名の保護者の方々にご参加いただきました。台風12号の影響で天気が悪いにも関わらず、ほぼ予定通りにご参加いただき、大学への関心の高さを感じました。

本会では、大学の近況に始まり、学生生活、学修(成績・進学)、就職等の説明を、プロジェクター投影によるパワーポイントをもとに、画像、写真、数値データ等を交えて行い、保護者の方は、時折頷いたり、熱心にメモをとられたりしながら真剣に耳を傾けておられました。

大学側参加者の説明後には、同窓会組織である武蔵工業会静岡支部の太田様より、県内の就職状況や現地工業会の活動等について、貴重なお話や情報をご提供いただきました。本学卒業生のバックアップ



体制について、心強く思われた方も多かったのではないかと思います。その後、質疑応答で、「成績通知書の内容」「大学院と学部の就職の違い」「大学院進学率や進学のメリット」など、活発なご意見やご質問をいただきました。閉会後は、希望者のみを対象として、個人面談をさせていただきました。

静岡会場の保護者の方々とは直接お会いし、お話することで、大学に対する期待の大きさをひしひしと感じ、責任を感じると共に、その期待に応えられるよう、今後の大学の発展に貢献したいと、決意を新たにいたしました。